

「みなさんの質問」

No5 化粧下地は必要ですか？

過去のメルマガ配信は浅香純子のプロフィール下よりご覧いただけます。

秋の4連休、みなさんはどうお過ごしだったでしょうか？
久しぶりに遠出された方、近所で散歩の方
そして私のように半分くらいは仕事をされた方
それぞれのシルバーウィークだったのでしょうか。

私は友人と上野界隈をゆっくり歩きました。
(下に写真があります。)
あっという間に春から夏、そして秋の気配です。
やはり新型コロナウイルスとは腰を据えて
付き合わなくてはいけないのでしょうか。

今回は、質問コーナーに頂いた質問ではありませんが、
普通に教室をやっていたときに
お客様からこっそりと聞かれたことが
多い質問を取り上げます。
「ファンデーションの前に必ず化粧下地を使わないといけないの？」
Sayの愛用者の方のマストアイテムとして
オレンジ(またはライム)があると思いますが、
一般の多くの方がお持ちの疑問です。

化粧下地には次に使うファンデーションの
のびをよくし、肌への密着性を高めて
美しい仕上がりを長く持続させるという
はたらきがあります。
つまりファンデーションのつき、のび、もちを
よくするということです。
また、商品によっては付加価値として紫外線カットや
保湿肌色補正など多機能タイプもあります。

やはりファンデーションの前には
そのファンデーションに合った化粧下地の
ご使用をおすすめします。

Sayのコントロールメイクアップベースのこだわりを
少し書かせて頂きます。

なんといってもまず、大人用ということです。

大人の方の2大悩みはたるみとくすみです。
残念ながら血行不良、透明感の不足などで
大人の肌は黄色くくすんでいきます。
疲れて見えたりしますのでこの黄ぐすみ対策は
とても大切です。
私たちはオレンジという色を提案しています。
黄色くくすんだ肌には赤みが少し必要になります。
黄色に血色の赤を足したオレンジこそ、
無理なく明るくしてくれる色と考えているからです。

コントロールメイクアップベースだけでなく
コンシーラーの右側、チークの右側、
まぶたを明るくするアイブライナーなど
いろいろのアイテムでオレンジ色に
こだわっています。

オールインワンタイプのもも忙しい時には便利ですが
やはりきちんと丁寧な肌色づくりをすると
大人の肌は蘇ります。
マスクの今こそ、化粧は手を抜かずに
きちんとしませんか。
背筋もピンとしてきます。



上野を散歩していたら偶然見つけました。
素敵な建物です。
国際子ども図書館です。
安藤忠雄もデザインに加わっているそうです。

大人のメイク お悩み相談室

化粧に関することでお困りのことが
ありましたら、メールにてご連絡ください。

浅香純子が直接、メールにてお答えします！

Mail : support@saysay.co.jp

ご質問は
こちらから

お問い合わせ

お客様センター



0120-288-653

平日のみ 9:00~16:00 (土・日・祝日はお休み)



あさか じゅんこ
浅香 純子プロフィール

「Say若創り学教室」主宰。長年、大手化粧品会社でブランドマーケティングに携わる。コスメブランド「RMK」では商品開発&PRを担当。「SUQUU(スック)」「CHICCA」などのブランドの立ち上げにも従事。2011年に退職後、大人のためのコスメブランド「Say」のブランドマネージャーに就任。2012年、東京・銀座に中高年女性向けのスキンケアとメイクを学ぶ「Say 若創り学教室」をオープン。豪快でありながら説得力のある語り口が人気で、雑誌やテレビでも活躍している。近著に『50歳からは塗りすぎをやめると美しくなる』(大和書房)『いくつになっても変わる 大人のメイクレッスン』(ナツメ社)がある。

「みなさんの質問。」の過去の配信はこちらからご覧いただけます。

「コロナのときに。」の過去の配信はこちらからご覧いただけます。

発行元：株式会社Say
〒104-0061
東京都中央区銀座2-12-12 7F
電話 : 0120-288-653
メール : support@saysay.co.jp